

第2回「ふれあいトーク」当日のやりとりコメント

【1】道路の件, 畑埃の件 について

自宅前の道路は, 道幅が狭く, 災害時に避難する際不安なので, 拡幅して欲しいです。以前, 自治会長経由で役場に要望しましたが, 一部地権者の反対により実施不可ということです。反対した方が所有する農地は, 耕作されていないため埃がひどく, 自治会長に相談したものの解決策が見出せない状況です。一度, 様子を見に来て欲しいです。

⇒ 【村長コメント】

後日, 現場を確認させていただき, 必要に応じて, 自治会長や反対されている方とも話をしてみたいと思います。村道の整備は, 地域の自治会で話し合いながら, 優先順位を付けて行っておりますので, 御理解いただければと思います。

【2】アレルギーの子どもに係るサークルのお知らせについて

私の子はアレルギーをもっているため, サークル(親子サークル「にんじん」)を立ち上げました。現在サークルでは, 保健センターや東海病院の協力を得ながら, 15名程度が参加し, お互いに情報交換をしています。8月1日に夏祭りを行いますので, 時間があれば参加して欲しいです。

⇒ 【村長コメント】

サークルの活動を, (内輪だけでなく)外に広げるのは大事なことです。意見交換をしたいと思います。この活動が継続できるよう, 役場でも協力していきたいです。
夏祭りについては, 時間を見て参加したいと思います。

【3】中丸小学校の工事の件, 子ども会新聞について

中丸小学校工事について, 授業中, 工事の音がうるさいと感じます。何とかして欲しいです。
また, 長堀地区の子ども会で新聞を作り, 8月の長堀まつりで配布しています。何か載せて欲しい記事があれば教えて欲しいです。

⇒ 【村長コメント】

中丸小学校の工事は, 遅れ気味になっています。本来夏休みにやるべきことですので, 大変申し訳ないと思っています。このような意見があることは, 関係者に伝えておきます。

子ども会新聞については, 子ども会で, 村に対して「こうして欲しい」というような, 例えば公園が欲しいとか, 緑豊かな遊び場所が欲しいとか, そういったことを書いてみたらどうでしょうか? 「今すぐできる」という約束はできませんが, ぜひ書いて欲しいと思います。

【4】若い人の就職の件について

役場職員に採用されるには、いわゆる「コネ」が必要と聞きましたが本当ですか。

⇒【村長コメント】

そのようなことは、絶対にありません。職員になるには、まず筆記試験に合格する必要がある、その後面接を行っています。面接の際には、出身地は考慮しておりません。また、面接官には民間の方にも入っていただいております、一人の面接官が強く推薦をしても、他の面接官がそうでない評価をした場合は、採用されない仕組みになっています。

【5】原発について

将来の子どもたちにとって、原発は不要だと思います。周り(周辺自治体)の意見を聞く、聞かないの問題ではありません。東海第二原子力発電所は(稼動から)35年を超過しています。物はいつか壊れます。原発が無くなれば、避難計画のことで心配する必要もないと思います。

⇒【村長コメント】

村民の安全安心を守るのが最優先であり、安全の確保は妥協しない考えです。ただ、仮に原発が廃止されたとしても、村に再処理施設がある以上、避難計画は必要ですので、御理解いただければと思います。

【6】孫の幼稚園のシステム等について

孫が村松幼稚園に通園しています。下の子(孫)を、上の子(孫)と同じ村松幼稚園に入れたいのですが、役場からは「抽選」と言われました。2人の孫を、別々の幼稚園に送迎するのは負担です。国の動きとして、女性の社会進出を推進しているのであれば、そのような身近な負担を軽減する配慮をして欲しいです。

⇒【村長コメント】

保育所には待機児童がいるので、そのような配慮は難しいですが、幼稚園がそれほど混みあっているとは聞いておりません。村松幼稚園は規模が大きく、また、3歳児ということも考えられますので、担当課に確認したいと思います。

⇒【社会福祉課コメント】

現在、村立幼稚園の4・5歳児の入園については入園を希望すれば、学区内のそれぞれの幼稚園に入ることができます。しかし、3歳児の入園については定員を超えると抽選となってしまいます。抽選については、不平等がないように現在の抽選方法となっております。

【7】金について

日本全国には埋蔵金が眠っており、東海村も例外ではないと思います。この事実を公表すると、村に人が殺到すると思いますが、問題はありますか？

⇒【村長コメント】

とても夢がある話と思います。体験談を踏まえた貴重な御意見として伺います。

【8】ドップラー式感応器(半感応式信号)の採用推進について

村では、基幹道路と支線道路の交差点に感応式信号が設置されていますが、幹線道路から右左折する車が支線道路の信号機に感応し、支線道路では車の有無に関わらず青信号になってしまうことがあります。低炭素社会の実現に向け、基幹道路と支線道路の交差点に、ドップラー式感応器(半感応式信号)の設置を進めて貰いたいです。

⇒ 【村長コメント】

信号機の管理は、茨城県警察本部で所管しているため、状況を確認のうえ、御意見があったことを申し伝えます。

【9】原研道路(旧合同庁舎付近)の歩道の危険箇所について

原研道路(旧合同庁舎付近)の歩道について、縁石やガードレールは整備されているものの、歩道自体が狭くなっている箇所があり、自転車を通る際に危険を感じています。改善して欲しいです。

⇒ 【村長コメント】

原研道路(旧合同庁舎付近)は、交通量も増えており、少しでも危険なものは回避できればと考えています。まずは、状況を確認させていただき、どうしても通行しにくいということであれば、原研道路の管理者である茨城県にも申し伝えたいと思います。

【10】通学路の安全対策について

子どもが石神小学校に通学していますが、立哨当番で旗を掲げていても通過する車もあり、非常に危険です。事故が起きないような取組みを行って欲しいです。

また、夕方は、3年生以上の児童は自由下校となるため、かえで通りを子どもが一人で帰ってくることとなります。安全パトロールの人数を増やして欲しいです。

このほか、原電線から石神コミュニティセンターの方に斜めに入ってくる通学路で、水田を通過する箇所が雨で水没してしまいます。歩道だけでも改善して欲しいです。

⇒ 【村長コメント】

現実的に、毎日パトカーを巡回させる訳にはいきませんし、安全パトロールも地域の方たちだけでは限界があります。全ての村民が、生活の中で子どもに気を配るような取組みが重要ですので、このことについて村民に呼びかけ、村全体の機運を盛り上げることをやっていきたいと思います。

通学路が水没する箇所については、何とかしなくてはならないと認識しています。子どもたちのために、できることを考えたいと思います。

⇒ 【みちづくり課コメント】

通学路の水没箇所については、歩道を一部嵩上げし応急措置をしました。

【11】指定ゴミ袋、体育館等について

燃えるゴミの指定袋が大きすぎるので、10リットルなど小さなサイズも作って欲しいです。

また、「絆」のトレーニングルームは早い時間に終わってしまうし、総合体育館の設備は劣悪です。若い人が利用できるようなフィットネスクラブを整備して欲しいです。

⇒ **【村長コメント】**

資源物の分別を徹底すると、確かにゴミがあまり出ないかもしれません。指定ゴミ袋のサイズについては、検討させて欲しいと思います。

フィットネスクラブについては、要望としては分かりました。総合体育館は確かに古いので、検討したいと思います。

⇒ **【環境政策課コメント】**

指定ごみ袋における10リットルなどの小さなサイズにつきましては、需要を確認し、製造単価や販売手数料などを勘案した上で、新しい指定ごみ袋導入の可能性について検討いたします。

【生涯学習課コメント】

総合体育館における器具は優先順位をつけながら順次入れ替えを行っておりますが、トレーニングルームの使用について年齢制限を設けていないため、高度な器具を入れておりません。一部本村も含まれる笠松運動公園内のトレーニングルームには高度なトレーニング器具がそろっていますので、ご利用ください。